

震災での現場の人たちの奮闘に胸を打たれる

——最新著書『日本人の美質』が出版されましたが、日本人や日本社会の強みと弱みについて、どのようにお考えになっていますか。

坂東——3・11の津波の後、外国の友だちからたくさんメールをいただき、日本人は何で素晴らしいのだという褒め言葉が殺到しました。今まで日本人というのは、いいモノはつくるけれども、姿が見えないと批判されてきました。しかし、今回、佐藤水産の佐藤専務さんのように、中国人の研修生の人たちを避難させて、もう一度戻って犠牲になられた方や、南三陸町の職員の遠藤さんのように、住民に避難を呼び続け、犠牲になられた方が大勢いました。今どきの若者は、と言われますが、そのように義務を果たした人たちがたくさんいらっしゃったというのは嬉しい驚きでした。

現場の第一線に立っている人たちははじめで一生懸命に持ち場を守って最後まで戦っていました。福島原発の事故の後のトップの対応を見たとき、これは前にも見た風景だぞと思います。太平洋戦争において、ガダルカナルやサイパン島で現場の人たちは最後の一兵に至るまで頑張ったのに、それに甘えてリーダーの人たちは無用の戦いを強い、犠牲を大きくしました。その姿は東日本大震災だけでなく、この失われた20年

# 坂東

BANDO  
Mariko

# 眞理子

さん

## に伺いました

国内外の国の仕事、地方行政などに長年かわられた視点から、「日本人の美質」を活かした土木技術者への期待を伺った。

の経済社会でも同じだと感じています。現場は乾いたぞうきんをさらに絞るように、それぞれ与えられたところでベストを尽くしているのに、トップが大きな戦略を描けなかったのです。

その地域にしかない魅力あるまちづくりを考えてほしい

——東日本大震災からの復興においても、それぞれの自治体のリーダーシップが問われていると思います。今こうした地域の復興を、国や地方自治体はどう進めていくべきか、お考えをお聞かせください。

坂東——岩手県大船渡市では集団移住を受け入れました。一方で、元のところと同じように復

旧したいという方も多くいます。差が出るといコール格差である、平等ではない、悪であると考える人が多いというのは残念です。災害にあつても安全に生活することができる基盤整備は全国一律に必要ですが、その上の部分については、それぞれ地域によって違って当然で、むしろ違わなければいけないのだという新しいコンセンサスが必要なのではないでしょうか。その地域にしかない魅力あるまちづくりを、衆知を集めて考えてほしいと思います。

ジェンダー格差が経済競争力を弱める

——土木の分野でも、ようやく女性の活躍が

ばんどう・まりこさん  
プロフィール

富山県生まれ。1969年東京大学卒業、総理府入省。内閣広報室参事官、統計局消費統計課長、男女共同参画室長、埼玉副知事、プリズベン総領事などを経て、2001年内閣府男女共同参画局長。2004年から昭和女子大学大学院教授・女性文化研究所長。2007年から学長、現在に至る。著書『副知事日記』、『女性の品格』など著書多数。



多く見られるようになってきましたが、それでもたとえば土木学会の正会員の割合では女性が2・7%しかいません。男女共同参画社会の推進に、国のトップとして当たってこられた中で、現状と今後についてお考えになっていることをお聞かせください。

**坂東**——2003年に、日本政府は2020年までにはあらゆる分野の指導的地位にある人の30%を女性にするということを出して、基本計画に入り閣議決定もしました。しかし、あと8年なのにあまりそういった女性が育っていません。世界経済フォーラムが毎年発表している

『ジェンダー格差レポート』では、日本は135か国中98位です。日本は寿命の長さや教育水準の高さでは世界でもトップグループですが、賃金格差や、政治家の少なさ、管理職の少なさで差がつけられています。勉強をして能力があり、健康なのに、その能力を発揮する場がない。結局、それが日本の経済競争力を弱めている一因です。私は、中堅企業に期待をかけているのですが、子育てを終了した30代後半から40代の人を新卒社員として採用してほしいと思っています。彼女たちはもう出産休暇も取らせませんし、育児休業も取られません。その代わり新入社員と同じ

給料でいいから、しっかり鍛え、チャンスを与えてほしい。それが一番現実的ではないでしょうか。今政府が若い人たちに対して進めている育児休業や短時間労働などは、企業にとつてはコスト高になります。だから女性は困るという声もあります。女性の活躍の裾野を広げるということでは、40歳採用にし、それで65歳まで働いてもらう選択肢もつくるといいと思います。

## 日本人の美質を活かしてグローバルに活躍してください

——日本の土木や土木技術者に期待したいことはありますか。

**坂東**——日本の土木技術はとても高い水準にあります。ぜひそれを国内だけでなく、アジア、アフリカなど途上国の社会建設のために使っていただきたいと思っています。地球的な課題として、砂漠化やエネルギー不足など解決が求められていることがたくさんあります。そのためには、新しいインフラが必要で、フロントイアは広がっています。もう高速道路は十分張り巡らされたというような国内だけに目を向けるのではなく、グローバルなインフラ整備で活躍していただきたいと思っています。

日本の人たちは、実際にチームを組むと、外国の人とも平等な意識、仲間意識があります。ぜひそうした美質を活かして、海外に目を向けていただければと思います。